SHOUTOU-GAKUSYA

新生活の
“ベースキャンプ”

松濤学舎の3つの強み

“おいしい”を
サポート

“つながる”を
育てる

佐賀県ゆかりの学生のための寮
since1921

公益財団法人佐賀育英会

松濤学舎（しょうとうがくしゃ）

令和８年度版
（令和９年度入舎生募集用）



首都圏への進学を
全力でサポート！

松濤学舎の沿革


鍋島 直大


大隈 重信

1918 年（大正 7 年）　鍋島直大（佐賀藩 11 代当主）を総裁、
大隈重信（外相、首相、早大創立者）を副総裁として佐賀育英会誕生
1921 年（大正 10 年）　財団法人として認可
1924 年（大正 13 年）　寄宿舎を竣工し、「松濤学舎」と名づく（現在の渋谷区松濤町）
1971 年（昭和 46 年）　施設の老朽化のため東京都小金井市に移転
1990 年（平成 2 年）　現在の松濤学舎（建元・コート等）が完成
2021 年（令和 3 年）　創立 100 周年を迎える
2023 年（令和 5 年）　男女共住化に向け、段階的にリノベーションを行い、女子学生の受け入れを開始
2026 年（令和 8 年）　リノベーションの全工程が完了　新たなスタートへ！

舎生の主な出身高校（最近 3 か年）

公　立
鳥栖高・佐賀西高・佐賀東高・佐賀北高・致遠館高・佐賀商高・
唐津東高・唐津西高・伊万里高・武雄高・鹿島高・白石高

私　立
【佐　賀】佐賀清和高・龍谷高・弘学館高
【福　岡】福岡大附属大濠高・福岡雙葉高・久留米大附設高
【長　崎】長崎南山高
【その他】GP バニエ高・スイス公文学園高等部

舎生の在籍大学（最近 3 か年）

国公立
東京大・東京科学大（東京工業大）・東京外国語大・東京学芸大・東京農工大・
一橋大・東京都立大

私　立
学習院大・慶應義塾大・工学院大・國學院大・国際基督教大・駒澤大・
情報経営イノベーション専門職大・専修大・多摩美術大・中央大・津田塾大・
帝京大・東海大・東京理科大・東洋英和女学院大・日本大・武蔵野美術大・
明治大・立教大・立正大・早稲田大

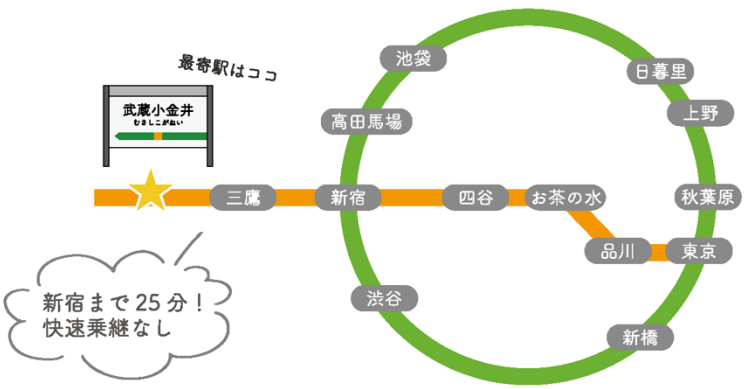
通学時間（例）

大学	所要時間	定期代
東京大（駒場キャンパス）	約 45 分	¥6,620 / 月
東京大（本郷キャンパス）	約 45 分	¥11,280 / 月
東京外国語大	約 15 分	（自転車）
東京学芸大	約 10 分	（自転車）
東京農工大（小金井校舎）	約 8 分	（自転車）
東京農工大（府中校舎）	約 11 分	（自転車）
一橋大	約 25 分	（自転車）
東京都立大（南大沢校舎）	約 50 分	¥3,890 / 月

大学	所要時間	定期代
慶應義塾大（日吉キャンパス）	約 75 分	¥9,360 / 月
慶應義塾大（三田キャンパス）	約 60 分	¥8,940 / 月
津田塾大	約 60 分	¥3,890 / 月
日本大（神田校舎）	約 50 分	¥7,720 / 月
明治大（和泉校舎）	約 35 分	¥6,270 / 月
明治大（駿河台校舎）	約 35 分	¥8,410 / 月
明治大（中野校舎）	約 20 分	¥6,120 / 月
早稲田大	約 28 分	¥9,620 / 月

所要時間は乗車と徒歩を合わせた目安です
定期代は 2026 年 4 月の現在のものです


武蔵小金井駅



新生活の“ベースキャンプ”



☑ 安価で快適な居住空間

首都圏の学生の平均家賃を大きく下回る住居費。
部屋は完全個室でインターネット環境完備。
一人暮らしに必要な家具も予め備え付けてあります。

備え付け設備
机 / 椅子 / 本棚 / カーテン /
ベッド / マットレス / 冷暖房 /
クローゼット / 照明器具 /
非常用持出袋







☑ 都会での安心安全をしっかりサポート

暗証番号によるロックで女子スペースの安全を確保しているほか、防犯カメラを８か所に設置しています。エントランスは最寄駅の終電後、帰ってこられる時間を目安に施錠します。







☑ 充実の共同スペース

図書室やラウンジなど、学生の本分である勉学や交流の基盤となる施設が整っているほか、リフレッシュに使えるアスレチック室やテニスコート等もあります。









“おいしい”をサポート

☑ バランスのとれた食事



日曜と祝日を除き、朝夕２食日替わりの食事が付いています。
専属の調理人さんによる温かい料理です。

勉強やサークル、アルバイトなどで忙しい学生生活の元気の源は食事です。
一人暮らしだと偏りがちな栄養も、寮なら安心。

朝食 6:30～8:30 / 夕食 18:00～20:30 が食事時間として決まっていますが、
希望者には取り置きもしているので、サークル等で遅くなっても大丈夫です。
* 昼食や日祝日等はセルフキッチンを利用可

ある週の献立

月	朝食 / ハムソテー	夕食 / 中華丼
火	朝食 / スペイン風オムレツ	夕食 / 蒸し鶏のネギ塩だれ
水	朝食 / 豚バラ白菜	夕食 / タラの揚げ煮
木	朝食 / 豚肉と長ねぎの塩炒め	夕食 / とんかつ
金	朝食 / 豆腐ハンバーグ	夕食 / チンジャオロース
土	朝食 / 豚肉の卵とじ	夕食 / 冷やしうどん

＊朝食には　ごはん・副菜・汁物付
　夕食には　ごはん・小鉢２品・スープまたは味噌汁付



男子　大浴場（利用可能時間 21:00 ～ 25:00）・シャワー（随時利用可）
女子　ユニットバス・シャワー室（随時利用可）

男女それぞれにランドリーがあり、いつでも洗濯することができます。



男子専用エリア（1F 男子浴室 / 3F 洗面トイレ）

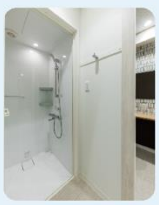






女子専用エリア（1F 浴室 / 1F 洗濯ラウンジ / 2F 洗面トイレ / 2F パウダールーム）









“つながる”を育てる

大学を超えたつながり

最大 47 名が共住する松濤学舎（男子 24 室、女子 23 室）では、大学を超えたつながりができます。
松濤学舎では様々な行事があり、地域活動や研修活動など多岐に渡っており、
充実した 4 年間を過ごすことができます。
これらの活動や日常の些細なやりとりを通して培うコミュニケーション能力は
社会人として必要な力の基盤になります。



▲ 入舎式



▲ 山手線一周ウォーキング



▲ バーベキュー

OB・OG との交流

松濤学舎は 2021 年に 100 周年を迎えた伝統ある寮です。
学舎の先輩等が企業説明とともに自身の経験を
元にアドバイスしてくださる「就活のため社会勉強会」
などの交流も魅力の一つです。



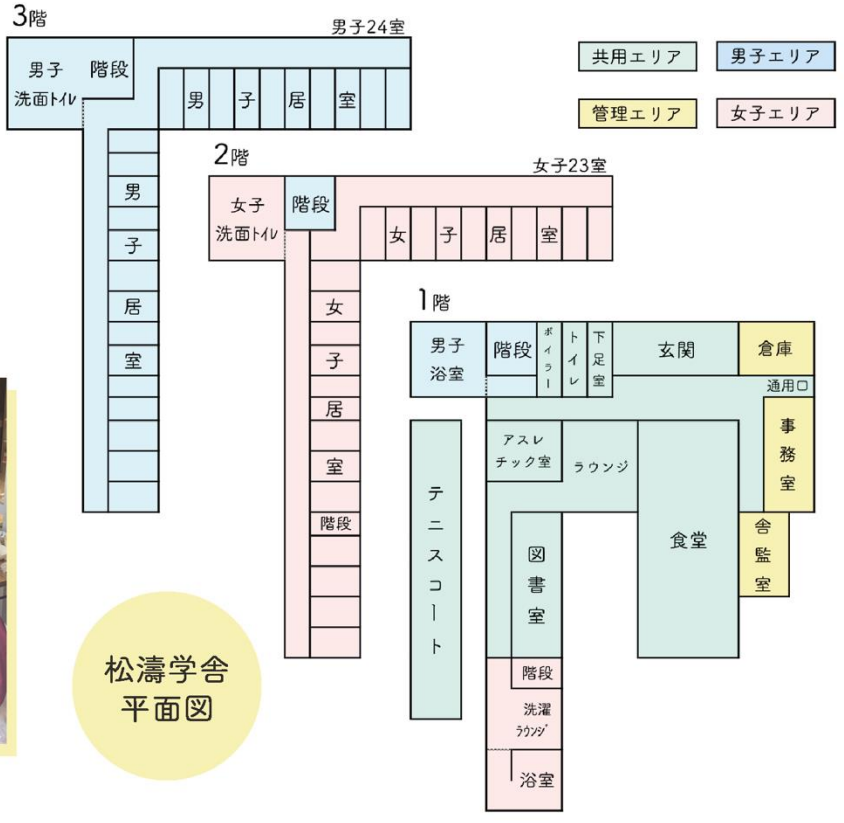
▲ 就活のための社会勉強会











松濤学舎
平面図

在舎生からのメッセージ

森田 麗翔 さん　東海大学政治経済学部3年（致遠館高校出身）



松濤学舎では、朝晩にバランスの取れた食事を摂ることができるため、健康な生活を日々送ることができています。また、寮内でのイベントも数多く実施しており、敷地内のテニスコートを使ってBBQ大会をしたり、山手線一周をウォーキングしたり、関東圏で旅行に行ったりと寮生同士の交流も盛んです。1人暮らしをすることが不安な方もいるかもしれませんが、先輩や舎監夫妻が優しく接してくれるため、楽しい大学生活を送ることができると思います！

金津 伊央莉 さん　東京農工大学農学部3年（武雄高校出身）



松濤学舎は、生活に必要な設備がほとんど整っており、同郷の仲間も多いため、東京での新生活を安心してスタートできる環境だと思います。帰ってきたときに誰かが居るという事実だけで安心できる日もありました。食事は栄養バランスが良く、とてもおいしいので日々の楽しみの一つになっています。また、私が体調を崩して病院にかかった際には、舎監さんが迎えに来てくださり、とても心強かったです。温かい支えのある環境の中で、共同生活ならではの学びや成長の機会もたくさん得られると思います！

OB・OGからのメッセージ

岩﨑 優 さん　株式会社福岡銀行 北九州営業部 明治大学政治経済学部 2025年卒業（唐津東高等学校出身）



コロナ禍だった2021年度に入舎し、松濤学舎で過ごしました。当時はオンライン授業が多く、大学に行けないことも多い中、優しく個性的な寮生の皆さんと今でも忘れることのできない大切な思い出を数多く作りました。そして何よりも幅広い年齢層の方々と関わる中で、社会で必要となる教養や礼儀を身につけることができました。松濤学舎で過ごす4年間は必ず皆様にとって有意義なものになります。ぜひ松濤学舎で大学生活を謳歌してください！

原口 桜 さん　株式会社名村造船所 東京事務所 早稲田大学国際教養学部2025年卒業（佐賀西高等学校出身）



上京したものの、知り合いも少なく心細さを感じていた頃、松濤学舎に女子寮が新設され、入舎しました。共有スペースに行けば誰かがいて、朝夕の食事をいただくときも、大学の課題に向き合うときも、ひとりではない安心感があり、快適な毎日を過ごさせていただきました。寮での生活を通じて、さまざまな分野で活躍する先輩や同期、後輩たちと出会い、多くの刺激を得られたことは、今でも学生時代の大切な思い出です。

保護者・役員からのメッセージ

吉丸 雅子 さん　在舎生（2021年4月～2025年3月在舎）の保護者



松濤学舎入舎を決めたのは、食事や体調不良など困った時に相談できる環境を望んだからでした。入舎後に聞いた子どもの話、保護者会で保護者同士や舎監・役員の方々から子どもの様子をお聞きしながら、松濤学舎の本当の魅力に気がつきました。舎監夫妻や役員、OB・OGや東京県人会の方々など、佐賀にゆかりのある年齢も性別も職業も様々な方々が子どもの成長を見守って促していただいているということでした。この唯一の環境は間違いなく子どもの人生の糧となっていきます。

於保 啓子 さん　佐賀育英会評議員 東京佐賀県人会事務局長

25年ほど前、東京佐賀県人会の大会を初めて手伝った際、松濤学舎の学生たちと出会いました。「どんな大人になるのだろう？」と思ったことやそのキラキラした目を今も鮮明に覚えています。当時の舎監先生（遠縁）に「あんたとは縁がありそうだな」と言われたとおり、時を経て今、県人会のお手伝いをお願いするなど、再び舎生の皆さんと関わっています。生き生きとした皆さんの振る舞いを見ていると、学舎での生活は「一生の宝物」になると確信しています。

募集人員

男子７名 / 女子４名 程度

※最終的には年度末に確定します
※全体では、男子 24 名・女子 23 名　計 47 名が在舎しています

月額寮費

寮費 50,000 円　食費等 26,100 円
朝夕２食付（日曜・祝日を除く）

申込期間

令和９年１月８日（金）～２月10日（水）

入舎時納入費

100,000 円　入舎寄付金 / 施設維持費として 入舎時のみ納入していただきます

公益財団法人 佐賀育英会
松濤学舎
〒184-0013
東京都小金井市前原町３丁目３番28号
TEL：042-381-3676　FAX：042-381-3620
MAIL：nabeshima2021@iaa.itkeeper.ne.jp
HP：https://www.shoutougakusya.com/

最新情報は HP をご覧ください